



木次っ子の四季

～みんなで成長する楽しい学校をめざして～

校長:大島 悟



木次っ子発表会でみんながんばりました！

11月16日(土)に、木次っ子発表会を開催しました。発表会に向けて、それぞれの学年が、これまで学習したことを、劇、ダンス、群読など、様々な表現活動を盛り込みながら発表しました。

1年生の劇「おおきな おいも」では、大きなおいもを抜くために、これまで生活科の学習でお世話になってきた人たちの助けをかりながらおいもを抜くまでのようすについて演じました。「踊るポンポコリン」にあわせて元気よく踊った最後のダンスがとてもかわいかったです。2年生の劇「ようこそ日本へ 神話の国へ」では、出雲に集まった神様、おみこし、野菜が大好きな子どもたち、光の精などが登場してパフォーマンスを繰り広げ、最後の「ようこそ日本へ」の迫力あるダンスによるフィナーレにつなげました。3年生は国語で学習した「サーカスのライオン」の劇を行いました。授業で考えた登場人物の気持ちが伝わる演技に加え、ダンスや一輪車などのパフォーマンスを盛り込みながら、最後は「友達はいいいもんだ」の合唱を披露しました。

4年生の「Welcome to Japan～ようこそ日本へ～」の劇では、社会科で学習した47都道府県の名物や観光名所などを、ドラえもんの力を借りながら、様々なパフォーマンスを交えて紹介しました。最後の「ふるさと」の合唱も心に響きました。5年生の「伝えよう『和』の文化」では、総合的な学習の時間で学習した郷土食について劇を交えて紹介したあと、国語で学習した「平家物語」などの朗読を披露しました。最後のソーラン節のダンスはとても迫力があって、かっこよかったです。学年発表の最後を飾った6年生は「平和な日本と私たちの夢」というテーマで、日本の歴史を劇で振り返りながら、今ある平和がどれだけ大切なものであるか、平和な世の中で自分たちがどのように生きるのか、メッセージ性のある発表を行いました。これから新しい世界へ飛び出そうという気持ちを表した最後のダンスは、最上級生らしい大人っぽさを交えた素敵なダンスでした。発表会の最後に「歌よありがとう」を全校の子どもたちと教職員で歌いあげました。

子どもたちが、たくさんの保護者の方や地域の方の前で、堂々と表現活動を行う姿、一人一人が自分の役割を自覚し、みんなで協力して一つの発表を創り上げる姿にとても感動しました。保護者の皆様には、発表会に向けた準備を含め、子どもたちを温かく見守っていただきありがとうございました。また地域の皆様にも、子どもたちの活動に対して多くのご支援やご声援をいただきありがとうございました。



基本的自尊感情を育てることの大切さ

11月8日(金)に木次こども園のPTA研修会が行われ、こども園の保護者の方に自尊感情の育成について、近藤卓氏の考えをもとにお話をさせていただきました。近藤卓氏は、自尊感情について「**社会的自尊感情**」と「**基本的自尊感情**」という領域があること、特に基本的自尊感情については、乳幼児期から育てていく必要があることをその著書のなかで述べています。(近藤卓『乳幼児期から育む自尊感情 生きる力 乗り越える力』エイデル研究所 2015 年より)まとめると右図のようになります。「社会的自尊感情」は熱気球のようなもので、成功したときやできたときには膨らみますが、失敗したり挫折したときにはしぼんでしまいます。それを支えるのが「基本的自尊感情」であり、失敗や挫折があっても、これがきちんと育まれていれば、「自分は自分」「自分はこのままでいいんだ」という気持ちになり、立ち直っていくことができます。二つの自尊感情をバランスよく育てることが大切なのです。自分に自信がなく、心に不安を抱えてカウンセリングによく訪れる子どもたちでもっとも多いのは、社会的自尊感情が大きく膨らんでいるのに、基本的自尊感情が低い子どもたちが多いそうです。

基本的自尊感情を育てていくためには、日常の何気ない**共有体験**を地道に積み重ねていくことが大切です。一緒に花をみて「かわいいね」と目と目をあわせて微笑み合うこと、おもちゃで一緒に遊んで「楽しいね」と笑い合うことなど、体験と感情の共有を通して、子どもは「かわいい」「楽しい」と感じる自分が間違っていないことや、そう受けとめられていることを実感できます。そういった共有体験を、糊を染みこませた和紙を一枚一枚重ねていくように積み重ねることで、簡単には崩れない「基本的自尊感情」が育まれていきます。

「木次っ子の四季」7月号でも紹介しましたが、木次小学校では自尊感情の育成を重点目標の一つに掲げています。ご家庭や地域の方とともに、子どもたちの自尊感情の育成に向けて、共に歩んでいけたらと思っています。

自尊感情の二つの領域

社会的自尊感情

他者からほめられたり、認められたり、成功体験によって高まる。

親や教師からの
「よくやったね。」
「よくできたね。」
「えらいね。」



社会の中で生きていくのに必要な感情。

基本的自尊感情

自分の良いところも、悪いところもあるがままに受け入れ、自分を大切な存在として尊重するもの。

「自分はこのままでいい」
「自分は自分」

ふくらんだり、しぼんだりする社会的自尊感情を、下でしっかりと支えている。

両方の自尊感情を育てることの大切さ

社会的自尊感情

基本的自尊感情

自尊感情の二つの部分がバランスよく形成されている。大きく安定した自尊感情。

失敗や叱責があっても、基本的自尊感情が心を支えてくれる。立ち直れる。

めざしたい姿

基本的自尊感情を育てるために

日常のなにげない共有体験を地道に積み重ねること。



例えるなら、のりをしみ込ませた和紙を積み重ねていくような作業。一度出来上がれば簡単には崩れない。



幼い頃から、最も身近で親密な関係にある保護者の果たす役割が極めて大きい。

特に乳幼児期の家庭での共有体験が大切。

【11～12月のおもな行事】

11月22日(金) 人権教室(1, 2年)
11月25日(月) 人権教室(3, 4年)
11月27日(水) 校内マラソン大会
(予備日29日)
11月27日(水) 避難訓練(地震)
11月29日(金) 個人懇談(～12月6日)
11月29日(金) 家読週間(～12月5日)
12月2日(月) 全校お弁当の日(給食なし)

12月10日(火) 島根県学力調査(5・6年)
12月10日(火) 木次町内6年生交流会
12月11日(金) SC来校
12月16日(月) 音楽鑑賞会(午前中)
12月20日(金) SC来校
12月24日(火) 給食最終日
12月25日(水) 2学期終業式
12月26日(木) 冬季休業開始